

公表

事業所における自己評価結果

公表日 2025年11月15日

事業所名		児童発達支援みんな		公表日 2025年11月15日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・より多くの個室を確保できることが理想ではあるが、時間帯を調整することでスペースを有効活用できている。 ・建物の設備の関係で部屋のスペースに限りがあるが、職員間で話し合いがなされ、療育室の使い方について話し合いがなされ、子ども達が安心して過ごせるように工夫がなされている。 ・集団で活動ができるよう一緒に遊ぶ時間・場所を設けたり個別で落ち着いて活動をしたりするなど、子どもの特性や様子に応じてスペースの活用ができています。 ・相談室が相談室として使用できないことがあるため、苦しいことがあります。	・スペースの活用、危険の回避について、継続して検討、改善していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	・人員配置について確認が必要な場合は新潟市に確認するなど、徹底されている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	・段差、階段等があるので、その都度注意を呼びかけ、見守りをしている。 ・障害特性に応じて視覚的な提示や工夫が専門的になされている。 ・児発の児童には階段が難しいと思う場面もある一方で、マナーやルールを学ぶ良い機会にもなっていると思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・建物の設備の関係で難しい部分があるが、乳児のおむつ替えなどには適していない。部屋を分けるなど工夫がなされている。 ・毎朝職員全員で掃除を行っている。 ・教材の収納するスペースが少なく使いたいのがすぐに見つけられないことがあるので、片付けやすく探しやすい収納ができたらいなと思います。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・こどもの特性に応じて個室を利用するとともに、必要に応じて対応する職員を増やし、過ごしやすい環境を提供している。 ・建物の設備の関係で部屋数に限りがあるが、パーテーションで区切ったり、障害特性に合わせて部屋割を工夫して使うなど、配慮がなされている。 ・職員間で声をかけ合いながら支援室の利用ができています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・子どもの姿に応じてその都度話し合いがなされている。(環境設定等)	・個に応じた支援を心掛け実践しているが、職員間でさらに効率のよい情報共有の仕方、研修、会議や話し合いの持ち方を検討、改善し、資質向上に努める。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・疑問に思ったことや意見などを職員同士で話しやすい関係だと思っています。 ・Hugや申し送りノート等の記録に記述をしたり、翌日に気付いた点などについて意見交換をしたりして共有しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	未実施	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・外部研修や内部研修に参加させていただいている。 ・たくさん研修案内を用意していただいています。しかし、時間の確保が難しくなかなか参加できません。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・HPにて公開されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	・フォーマルなアセスメントは今後の課題である。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・ようやく集団活動が狙めるような利用者の人数になってきているので、今後更に集団での活動等も取り入れていきたい。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	6	・打ち合わせ時間の確保はできていないが、記録を共有することで支援の振り返り等を行っている。 ・時間的に難しいので、記録等にとまめ、目を通して共有している。 ・営業時間の関係で、その日行われた支援の振り返りを話し合う事はできないが、ケア記録や申し送りノートを活用し、支援の振り返りがなされている。 ・カンファレンスがなされている。 ・気になったことや聞きたいことはその場にいた職員に確認したり共有したりしています。職員全体で振り返りをする時間を確保することは難しいですが、振り返ることで新たな気づきができたり次の支援につながっていくと思うので、できる機会があるといなと思います。 ・気になったことや聞きたいことはその場にいた職員に確認したり共有したりしています。	

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・半年に一回は必ずモニタリングがなされている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	・新設事業所なので、今後の取組となる。 ・よつば学園と情報共有が丁寧になされている。 ・昨年度、開所の事業所ということもあり、就学時の移行支援は未実施。今年度から実施予定。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
保護者への説明等	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	未実施	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		・地域参加、地域貢献について、できることを整理検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・直接お会いできるお家の方には、日々の様子や取り組みなど、サービス提供記録を用いて、口頭で説明させていただいている。 ・直接お会いできないお家の方にも、様子をHUGにてなるべく細かくお伝えしている。 ・お会いすることができない保護者の方や、Hugを見ていない保護者の方へのアクションができればいいと思います。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・個々の家族に応じて、取り組んでいる。 ・夏休み期間など、お家の方が参加しやすい時期にペアトレ等が行われている。 ・頻度を上げて開催できると良いと思います。座談会のような形でも。	・家族が参加する行事等について、検討していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約、更新時に必ずプラン説明がなされている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	・父母の会の活動は事業所の形態上難しいが、ペアトレ等で保護者同士が交流、または話し合いをする機会がある。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・個人情報に関するものは、鍵付き書庫で厳重に保管されている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	・個人情報も考慮して、事業所内等での活動による交流はもっていないが、公民館などの地域資源の利用は行っている。 ・今後の課題である。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		

非常時の対応	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・事前にアレルギーの有無を調査し、おやつやお弁当を持参していただくことで対応している。 ・ご家族経由で情報をいただいています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0		